

## はじめに

四日市市教育委員会では、平成15年（初版：平成14年度版）から、本市の学校教育の実情を広く情報発信し、市民の方々にご理解をいただくため、「四日市市学校教育白書」を発行しています。

平成17年度版（第4号）からは、本市の目指す学校教育の基盤として策定した「四日市市学校教育ビジョン」の進捗状況の評価を、この白書のもう一つの役割として位置付け、ビジョンの重点目標に対する達成状況等について記載しています。

平成28年度からスタートした「第3次四日市市学校教育ビジョン」では、本市の学校教育が目指す子どもの姿を明らかにし、その方向性を示すとともに、「子どもにつけたい力」と「子どもを支える学校づくり」の2つの観点から具体的な施策を定めました。

令和2年度からは、新しい四日市市の総合計画がスタートし、「夢と志をもち、未来を創るよっかいちの子ども」の育成を掲げた「四日市市新教育プログラム」による取組が始まりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大に伴い、本市においても令和元年度末からの2度の臨時休業を行うなど、学校教育活動に大きな影響がありました。学校再開後も、感染症対策を徹底したうえでの授業や学校行事の精選を行うなど、「学校における新しい生活様式」に基づく感染拡大防止対策に努めるとともに、児童生徒の学びの保障にも取り組んできました。

一方、国のGIGAスクール構想前倒しによるICT環境の急速な整備により、令和2年度末には1人1台学習者用タブレット端末の配備やネットワーク整備など、子どもたちを取り巻く教育環境も急激に変化しました。

本書では、令和2年度の教育委員会における取組の総括を行うとともに、学校教育ビジョンの実現に向け、子どもの姿や各学校・園での取組の現状を紹介しています。そして、各施策の実施状況や達成状況等の現状及び課題について明らかにすることで、「四日市市新教育プログラム」との関連を含めた第4次四日市市学校教育ビジョンの基盤づくりにつなげていきます。

今後も、子どもたちが主体的・協働的に学ぶ意欲や態度を身に付け、学校での学びを人生の充実・幸せや将来の社会貢献につなげていくことのできる「輝くよっかいちの子ども」の育成を目指していきます。

令和3年9月  
四日市市教育委員会